

講師紹介

(順不同・敬称略)



河田 恵昭

(CDR 理事長、京都大学防災研究所巨大災害研究センター／
センター長・教授)

【講義要旨】

「災害時における企業防災の重要性」

今年には能登半島地震、新潟県中越沖地震が発生し、「リケン」の問題など改めて災害時の企業防災の重要性が認識されました。

ここでは実例に基づく企業防災の改善ポイントなどを報告します。



村上 仁士

(CDR 副理事長、徳島大学名誉教授、
徳島大学環境防災研究センター／客員教授)

【講義要旨】

「津波概論」

津波の発生原因、津波の発生メカニズム、津波の性質と特徴、津波の伝播特性

過去の南海地震津波の被害（主に高知県を中心に）

次の南海地震時の津波の予測、津波防災に関する基本的な考え方、津波からの避難など。



永松 伸吾

(独立行政法人防災科学技術研究所 防災システム研究センター
災害リスクガバナンス研究プロジェクト リスク政策チームリーダー)

【講義要旨】

「今、なぜ事業継続計画(BCP)なのか？～BCPが変える災害対応～」

最近、様々なところでBCPという言葉聞くようになりましたが、そもそもBCPというのは何であろうか？ そしてなぜBCPがわが国で必要とされるようになったのか？ BCPでわが国の災害対応はどう変わるのか？ などBCPをめぐる基礎的な考え方について講義します。



松尾裕治

(国土交通省四国地方整備局／環境調整官・危機管理連絡室長)

【講義要旨】

「四国の防災十二術」

四国は、古来から災害の最前線と言われ、災害に対処した防災文化が根付いています。四国各地に伝わる地震・津波などの災害に関する言い伝え等から四国の防災十二術を作成しました。この防災術を現代社会においてどのように生かすかということについて紹介します。



松本直也 (国土交通省／河川局防災課長)

【講義要旨】

「国土交通省業務継続計画について」

国土交通省では、首都直下地震等の発災時の業務継続の取り組みについて検討を進め、6月21日に中央省庁として初めてのBCP (Business Continuity Plan)である国土交通省業務継続計画を決定しました。計画内容と、策定にあたって留意したこと等を紹介します。



指田朝久

(東京海上日動リスクコンサルティング株式会社／情報グループ／グループリーダー)

【講義要旨】

「企業における事業継続計画(BCP)構築のポイント」

企業が事業継続計画を策定するうえで、考慮すべきポイントを解説します。特に、目標復旧時間の設定にあたっての考慮点、事業継続戦略としての代替性の考え方などについて解説します。

また、実際の災害などにおける企業の事業継続の実践事例について紹介します。